

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【公開番号】特開 2016-39304 (P2016-39304A)

【公開日】平成 28 年 3 月 22 日 (2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2016-017

【出願番号】特願 2014-162643 (P2014-162643)

【国際特許分類】

H 0 1 S 5/022 (2006.01)

H 0 1 S 5/042 (2006.01)

H 0 1 S 5/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 S 5/022

H 0 1 S 5/042 6 3 0

H 0 1 S 5/06

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 13 日 (2017.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チップキャリアと、

前記チップキャリア上に設けられ、チップ実装領域、及び前記チップ実装領域からそれぞれ延在する第 1 及び第 2 領域を有する第 1 メタライズと、

前記チップキャリア上に設けられると共に前記第 1 メタライズと分離しており、直流電流が入力される第 2 メタライズと、

前記第 1 メタライズにおける前記チップ実装領域及び前記第 2 領域に連続して設けられた口ウ材パターンと、

前記口ウ材パターンを介して前記チップ実装領域に実装されると共に前記第 2 メタライズに接続される半導体レーザチップと、

一方の電極が前記第 1 領域に接続され、他方の電極が前記第 2 メタライズに接続されるコンデンサと、

を備える半導体レーザ装置。

【請求項 2】

前記コンデンサは、少なくとも前記第 1 領域と前記第 2 メタライズとの間の領域上に配置され、前記コンデンサの一方の電極が前記第 1 領域に接続され、前記他方の電極が前記第 2 メタライズに接続されてなる、請求項 1 に記載の半導体レーザ装置。

【請求項 3】

前記コンデンサは、前記第 1 領域上に配置され、前記コンデンサの一方の電極が前記第 1 領域に直接に接続され、前記他方の電極がワイヤを介して前記第 2 メタライズに接続されてなる、請求項 1 に記載の半導体レーザ装置。

【請求項 4】

前記半導体レーザチップは、利得領域と波長制御領域とからなる波長可変半導体レーザチップであり、且つ、前記利得領域に電流を注入するための利得電極を備え、

前記第 2 メタライズと前記利得電極とは、ワイヤを介して接続されてなる、請求項 1 に

記載の半導体レーザ装置。